

県タイル工業協組総会

新理事長に小玉氏



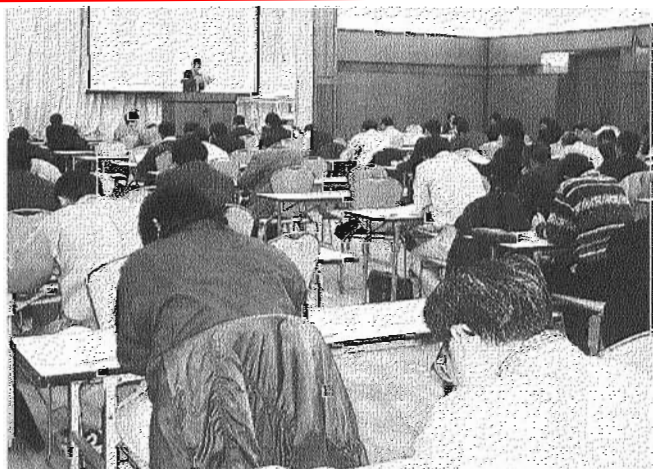
小玉利英新理事長

県タイル工業協組(森山清隆理事長)は29日、鹿児島市のベイサイドガーデンで第23回通常総会を開き、共同受注の拡大・推進等を柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では新理事長に小玉利英氏(小玉タイル建築)を選出した。



15年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

「ならない」と挨拶。続いて、議長に森山理事長を選出し議事に入り、14年度決算関係書類、15年度事業計画・収支予算案などを審議、全て全会一致で可決承認した。15年度事業計画は、①技術技能の向上へ講習会等の実施②技能検定への積極取り組み③労働安全の徹底④共同受注の拡大・推進⑤住宅リフォームに取り組み、工事範囲の拡大など。



次世代の省エネ基準等を学んだ講習会
＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

(船舶倉庫)▽理事 狩集重治(狩集タイル工務店) 北園政三(北園タイル) 原田雄二(南原田タイル) 茂利勝義(茂利タイル) 森山清隆(森山タイル)▽監事 前田郁雄(前田工務店) 鮫島勝美(鮫島タイル)

省エネ住宅設計・施工

来年度から助成制度開始

県及び建築環境・省エネ省エネ機構は29日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで「省エネ省エネ住宅の設計・施工」の講習会を開き、今後の事業の参考と省エネ住宅建築のきっかけとするため、基準や金融公庫の割増融資などを学んだ。

成制度などが始まるなど、省エネ住宅等に関する制度等も大きく変わる。そのため、住宅金融公庫融資基準、平成11年省エネ基準に基づく住宅の設計・施工などを学んでほしいと挨拶。

こと求められており、国土交通省では総合的な住宅のエネルギー削減策として11年3月に住宅の省エネルギー基準を改定し、告示している。この基準は断熱仕様の強化だけでなく、高性能化に伴う結露防止対策、換気対策、開口部仕様等、住宅全体の省エネルギー対策を基準化している。

鹿銀の県内状況

公共工事発注が低調

で、住宅建設も不振が続いている」とまとめた。詳細報告では、公共工事発注(12月)は、前年を下回り、受注状況は依然厳しいため、この時期としては繁忙感もさほど強くない。民間建築も、畜舎や医療・福祉関連施設の着工がみられるが、件数自体は少なく激しい受注競争が続いている。新設住宅着工戸数(11月)は、前年比10%減と3カ月連続で前年を下回った。用途別では、持家は12.6%減、分譲もマンショ

寄稿

日曜日、何も予定が

止のため入札方式改革を断行し、大成果を上げたというのである。電子入札制度を取り入れたらして、従来の工事発注額に比べれば、金額にして約40億円以上を節約出来、万々歳だというのが、私は見ていて複雑な気分であった。



宮脇 優

テレビを見て

はいないであろう。ただ横須賀市の今回のケースは、そのまま結構なことだと受け止めていいものだろうかと思

が苦しく、赤字と解っていることである。業者側から見れば問題は無かったのだから、厳しい経営状況にある業者が、赤字前提の受注をしたのではないだろう

県、合併重点支援地域指定
曾於北部など5地区
県は27日、昨年12月から今年1月にかけて、法定または任意の合併協議会が設置(設置決定)された曾於北部地区など5地区を合併重点支援地域に指定したことを発表し

鹿児島銀行はこのほど、最近の県内景況を発表した。総括では「景気の地合いは厳しさが続いている」と報告し、建設関連は「公共工事発注が低調